

ほっとエクスプレス(即湯システム) (先止め式)

品番

EG-2S2

取扱説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。

ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。

お読みになったあともすぐ取り出せる場所に大切に保管してください。

説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。

不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

※保証書は紛失しないよう大切に保管してください。紛失した場合、修理が有料となる場合があります。

※転居される場合、次に入居される方に、この説明書と保証書をお渡しください。

もくじ

各部のなまえ	1
安全上のご注意	2
ご使用前の注意事項	6
ご使用方法	9
日常の点検	11
定期的な部品点検のお願い	12
冬季凍結のおそれがある場合	12
長期間使用しない場合	12
故障かなと思ったら	13
アフターサービスについて	15
仕様	16
保証書	裏表紙
問い合わせ先	裏表紙

工事店様へのお願い

貴店名ならびに引渡し日を保証書にご記入の上、

お客様に必ずお渡しください。

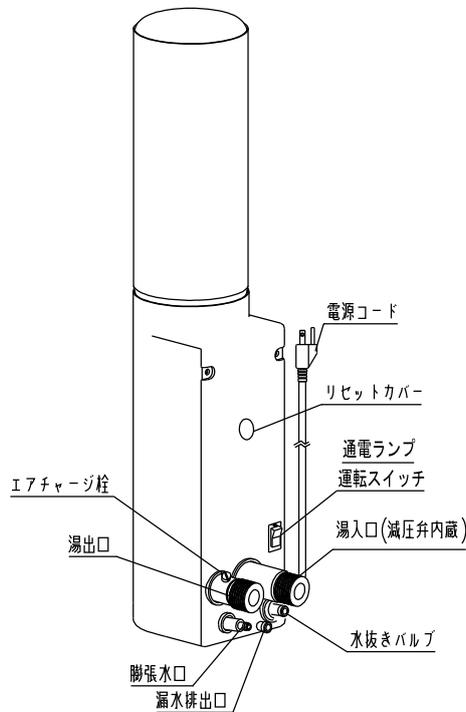
また、定期的に点検が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

また、フィルター付止水栓(必要別売部品)に付属の開閉工具は必ずお客様にお渡しください。

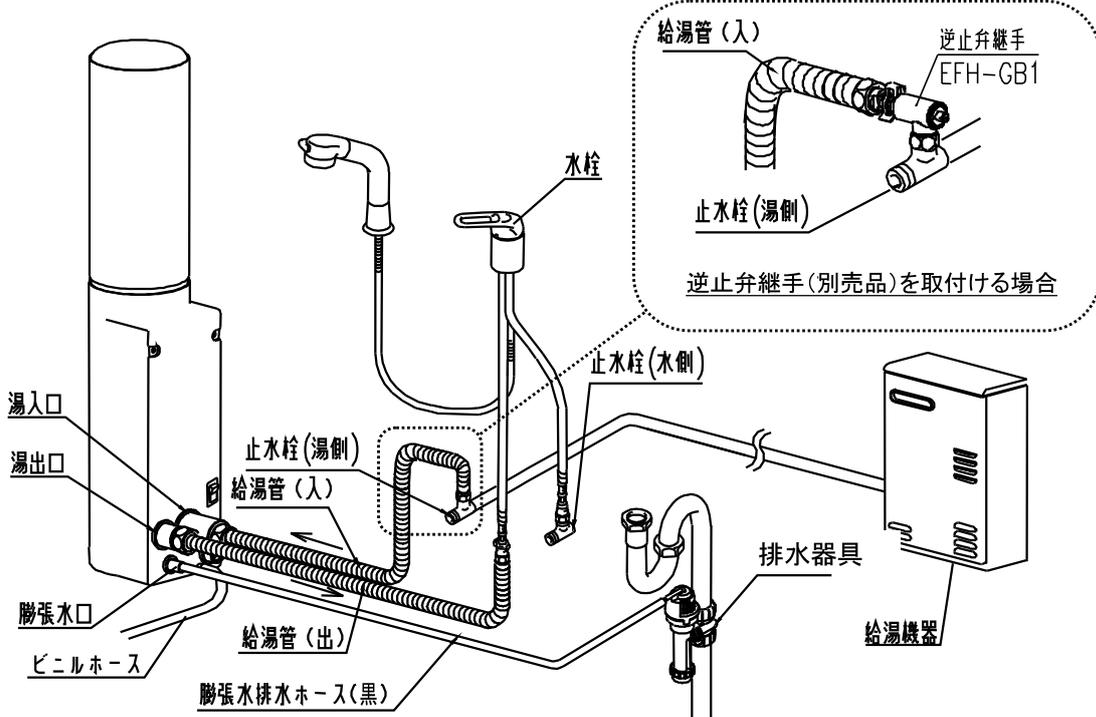
各部のなまえ

機器本体

※即湯システム本体は収納スペースを損なわないよう、化粧台やキッチンのキャビネット内引出し奥に設置されている場合があります。



配管図例



安全上のご注意(必ずお守りください)

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語の説明



警告

取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定される場合。



注意

取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定される場合。

記号の説明



「注意しなさい！」(上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)



禁止

「してはいけません！」(一般的な禁止記号です。)



指示実行

「指示通りにしなさい！」(一般的な行動指示記号です。)



分解禁止

「分解してはいけません！」



「必ずアースを接続しなさい！」



「電源差込プラグを抜きなさい！」

警告

ぬれ手に注意

- 電源プラグはぬれた手で絶対に触らないでください。
※感電のおそれがあります。



禁止

水かかり厳禁

- 屋外には設置されていないことを確認してください。
- 屋内でも水がかかったり、表面に結露が生じたりするような湿気の多くなる場所
特に浴室やシャワールームには設置しないでください。
- 機器に水をかけたり、機器上部にぬれたものや洗剤等を置いたりしないでください。
※機器内部に液体が入りこんで、機器の故障、火災や感電の原因になります。



禁止

機器の改造禁止

- 内部配線や電源コードの切断・圧着は絶対に行わないでください。
- 内部配線や電源コードを補修する必要がある場合は、現場で加工せず専用補修部品と交換してください。
※火災や感電の原因となります。



禁止

分解禁止

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解・修理・改造は行わないでください。
※火災や感電の原因になります。



分解禁止

ブレーカー作動時の使用中止

- 本機器とつながった分電盤のブレーカーが作動した場合、使用を中止し、すみやかに修理を依頼してください。
※本機器に異常があるおそれがあります。作動したブレーカーを入れ直してご使用を続けた場合、火災や漏電等の重大故障の原因となることがあります。



指示実行

アースの接続

- 設置場所の分電盤等に漏電遮断器が設置されていることを確認してください。
- アース線が必ず接続されていることを確認してください。
※アース工事がされていない場合や不完全な場合は、感電するおそれがあります。



機器のコンセント

- EG-2S2の場合
機器用に設置するコンセントは「アースターミナル付接地極付コンセント」をご使用ください。
この機器の電源プラグは接地極付タイプです。接地極のないコンセントには接続できません。
すでに接地極のないコンセントが設置されている場合は、コンセントを付け替えてください。
※故障や漏電時に感電・火災のおそれがあります。



指示実行

機器使用の条件

- この機器はAC100Vで使用してください。
※高い電圧に接続すると火災の危険性があります。



指示実行

電源プラグは確実に差し込む

- 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
また、傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。
※火災の原因になります。



指示実行



警告

電源コードを傷めない

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っばったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。また、電源コードを抜くときは、コードを持って引き抜かないでください。
- ※電源コードが破損し、感電・火災の原因となります。



禁止

電源プラグのお手入れを

- 半年に1回程度は電源プラグを抜き、ほこりを除去してください。
- ※火災の原因になります。



指示実行

機器使用の条件

- この機器は水道水以外の水(水道事業体が供給する上水以外)での使用はできません。
- ※早期に機器が損傷したり、漏水したりするおそれがあります。



禁止



注意

機器使用の条件

- この機器は車両、船舶での使用はできません。
- ※機器の故障だけでなく、漏電、漏水などのおそれがあります。
- この機器と組み合わせる給湯機器は 80°Cを超える設定温度にしないでください。
- ※機器の故障、漏水のおそれがあります。
- この機器は業務用(厨房、旅館、集合寮など)としての使用はできません。
- ※機器の寿命が著しく短くなります。
- この機器は日本国内向けです。国外での使用はできません。
- この機器は自動水栓オートマージュなど、流量 2.5L/min 以下で使用する水栓金具との組み合わせはできません。
- ※通水時に機器内の空気が抜けず、お湯が出なくなるおそれがあります。



禁止

機器使用の条件

- この機器は、給水圧力 0.05~0.75MPa までの範囲でご使用ください。
- ※水圧が高い地域に設置した場合、止水時に缶体内部の水圧が高くなり、膨張水口から水が噴き出し続けるおそれがあります。
- 水栓への接続は 1 か所までにしてください。2 か所以上に接続しないでください。
- ※流量が不足するおそれがあります。
- 必ず専用の排水器具と組み合わせてください。
- ※漏水のおそれがあります。
- この機器は横に傾けたり、上下逆さでは使用することはできません。また機器が傾いて倒れたりしないよう固定してあることを確認してください。
- ※ヤケドや機器の故障のおそれがあります。



指示実行

機器使用の条件

- この機器は電気製品です。浴室や湿度の高い場所および水のたまる危険性のある場所での使用はできません。
- ※感電や火災の原因になります。



禁止

膨張水排水ホース(黒)の接続

- 膨張水口からの膨張水排水ホース(黒)の接続が確実に行われているか必ず確認してください。
- ※漏水のおそれがあります。



指示実行

機器使用の条件

- 雷の音が聞こえる場合には使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ※感電の原因になります。



注意

飲用注意

- 機器内に長時間滞留した水は飲用に用いず、雑用水としてご使用ください。飲用する場合は2分程度通水し、機器内の水を入れ替えてからご使用ください。
※長時間滞留した水を飲用すると、場合によっては体調をくずすおそれがあります。



単水栓での使用禁止

- 単水栓では使用しないでください。必ず混合水栓でお湯と水を混ぜて適温に調節してご使用ください。
※ヤケドのおそれがあります。



機器使用の条件

- 長期間使用しないときには12ページの「長期間使用しない場合」を参考に水抜きなどを行ってください。
※機器の故障のおそれがあります。



空だき禁止

- 機器内の水が空の場合は、運転スイッチを「入」にしないでください。
※機器の破損、ヤケドのおそれがあります。



凍結予防

- 凍結のおそれがある場合は、運転スイッチを「切」にしないでください。
※機器が凍結破損し、漏水するおそれがあります。



キャビネット収納物の確認

- 即湯システムが設置されたキャビネット内の温度は、周囲の室内温度よりも上昇します。温度の影響を受けやすい化粧品や薬品類、洗剤等は収納しないでください。
※化粧品や薬品類、洗剤等が変質する場合があります。



機器使用上の注意

- 排水器具の下流側の排水管が詰まらないようにしてください。
※排水不良となり、漏水の恐れがあります。



ご承知おきいただきたいこと

- この機器は、タンク内のお湯と給湯配管に残った冷水を混合して出湯します。給湯配管の冷水を消費し、給湯機器からのお湯がくると、給湯機器の設定温度のお湯がでます。お湯を使用中に、出湯温度が変化しますので、必ず混合水栓でお湯と水を混ぜてご使用ください。
※ヤケドのおそれがあります。
- 給湯機器の運転スイッチを入れてご使用ください。給湯機器を運転せずにお湯を使うと、使用中極めて短い時間(30秒程度)で水になります。



ご使用前の確認事項

確認 1. 接地極付コンセントまたはアースターミナル付コンセントが取り付けられていますか？

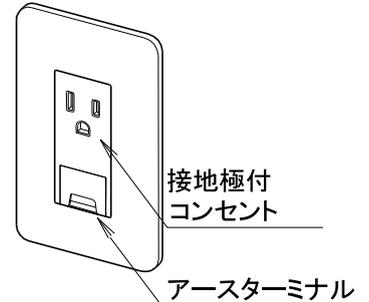
○EG-2S2 の場合

接地極のないコンセントには接続できません。



警告

すでに接地極のないコンセントが設置されている場合は、コンセントを付け替えてください。
※故障や、漏電時に感電・火災のおそれがあります。



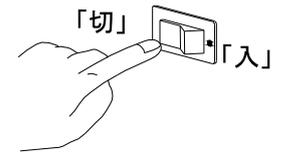
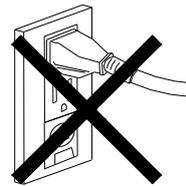
確認 2. 運転スイッチは「切」、電源プラグはコンセントに接続されていませんか？

- 運転スイッチが「入」になっていれば、「切」にします。
- 電源プラグがコンセントに接続されていれば抜きます。



注意

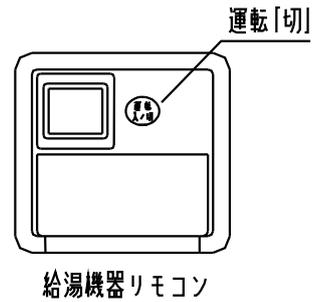
機器内のタンクが満水になっていない場合は、運転スイッチを「入」にしないでください。
※機器の破損やヤケドのおそれがあります。



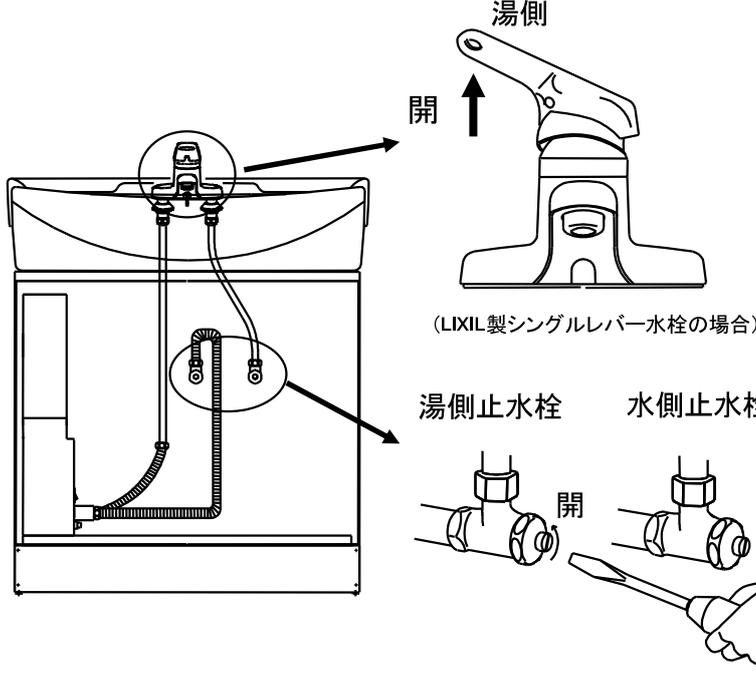
タンクへの給水手順

①水抜きバルブ、エアチャージ栓が閉まっていることを確認します。

②給湯機器の運転スイッチを切ります。



③水栓金具の湯側を全開にした後、湯側止水栓（本体の湯入口と接続されている側）を開けます。



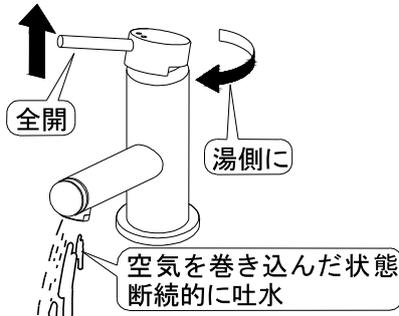
注意

湯側の通水では、水側止水栓を開けずに行ってください。
※完全に空気が抜けきらないおそれがあります。

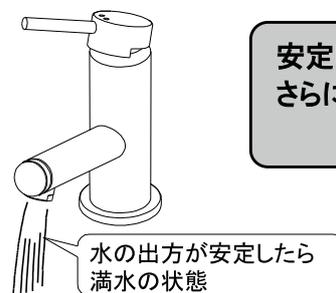
④水栓の湯側から水栓から安定して水が出るようになったら（空気を巻き込まずに水が出てきたら）、さらに5～6分流し続けます。

水の出方が安定するまで続けてください。

<満水になっていない状態>



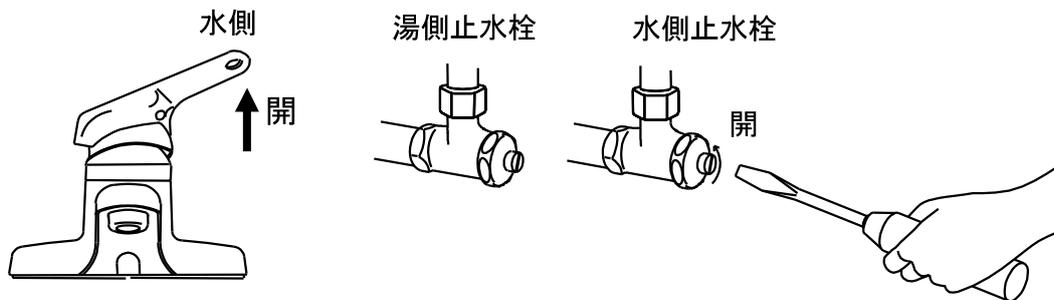
<満水の状態>



安定してから
さらに5～6分流します。

※機器内の空気がすべて抜ける前に水を止めると、沸きあげをおこなうときに空だきするおそれがあります。

⑤ 水栓の水側を開いて、水側の止水栓を開き同様に安定して水が出るまで流します。



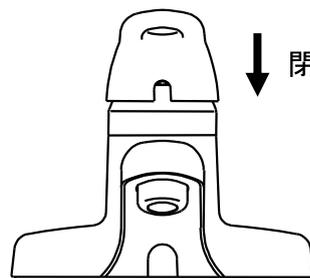
⑥ 湯側、水側ともに空気が抜けたことを確認したら、洗面器から水がはねたり、オーバーフローしたりしない程度に湯側および水側の止水栓で水量を調節します。調節後、水栓を閉めて配管各部の水漏れがないことを確認します。

※湯側の配管は減圧弁を通るので、水側に比べて水量が少なくなる場合があります。



注意

給水完了後に必ず配管から水漏れしていないことを確認してください。
※漏水のおそれがあります。

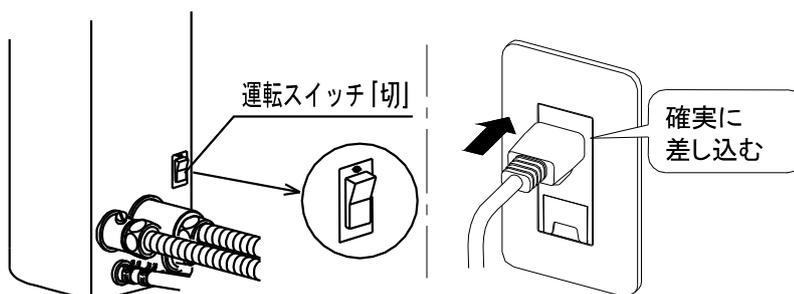


⑦ 運転スイッチが「切」になっていることを確認して電源プラグをコンセントへ差し込みます。

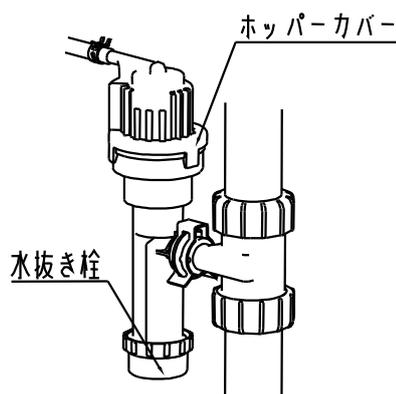


注意

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
※火災の原因になります。



※水抜きした後の再使用の場合、排水器具の水抜き栓およびホッパーカバーを外してあるときは必ず取り付けてから使用してください。

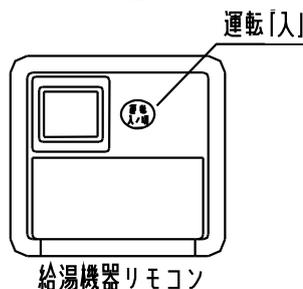
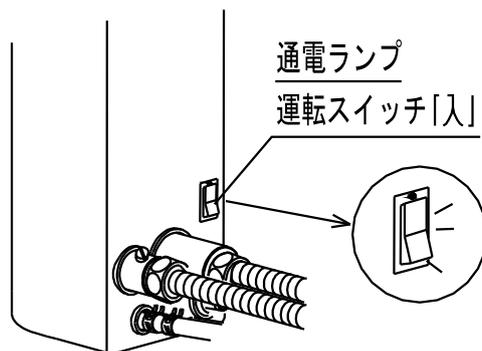


ご使用方法

- ① 運転スイッチを「入」にします。
通電ランプが点灯し、通電が始まります。

- ② わかしあげが完了したら、通電ランプが消灯し、お湯が使える状態になります。

- ③ 給湯機器の運転スイッチを入れます。これですぐにお湯が出る状態になります。



わかしあげが完了するまで
約 25 分かかります。
(水温 15℃時)

お湯を使用して、タンク内の湯温が下がると、通電ランプが点灯し、再びヒーターに通電されます。

- お湯を使用する際には、給湯機器の運転スイッチを入れてお使いください。給湯機器を運転せずにお湯を使うと、使用中極めて短い時間(30 秒程度)で水になります。
- 給湯機器の設定温度は 38～80℃の範囲でお使いください。
- 必ず混合水栓でお湯と水を混ぜて適温に調節してご使用ください。
- お湯を使用する時期は、本体の運転スイッチを「入」のままにしてください。夏場など、お湯が不要な場合は運転スイッチをお切りください。

安全装置のリセット方法(通電ランプが点灯しない場合)

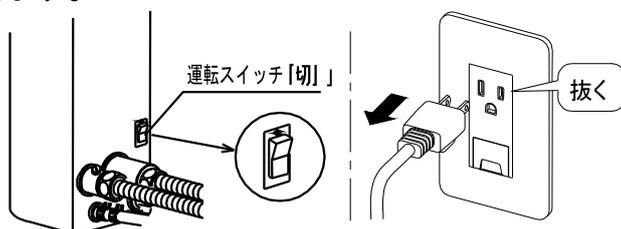
空だき等の原因で安全装置が作動した可能性があります。
下記の手順にしたがって、安全装置をリセットしてください。

- ① 運転スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜きます。

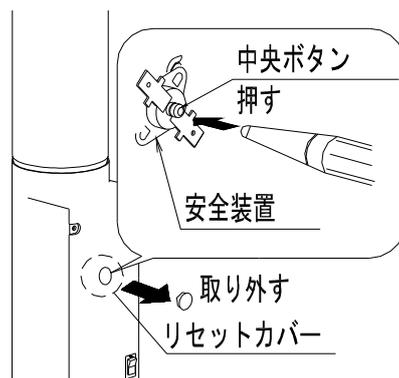


注意

必ず電源プラグをコンセントから
抜いてから作業を行ってください。
※感電のおそれがあります。



- ② リセットカバーを取り外し、安全スイッチのボタンを押します。
ボールペンの先などで、安全装置の中央ボタンを押します。



- ③ リセットカバーを取り付け、再度通水を行います。

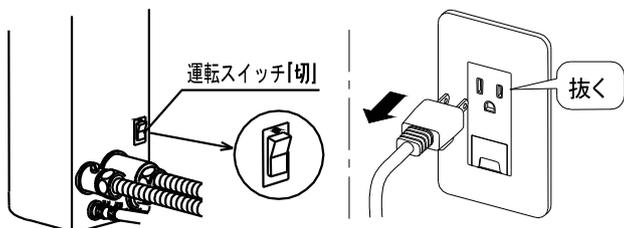
6 ページ参照

機器内の水を抜く

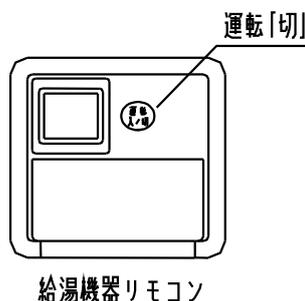
長期間、機器の使用をしない場合(特にその間に凍結のおそれがある場合は必ず) 下記の手順にしたがって、機器および排水器具の水抜きを行ってください。

【本体の水抜き方法】

- ① 運転スイッチを「切」にして、電源プラグをコンセントから抜きます。
 ※機器内の湯の温度を下げておくには、水抜き作業の6時間前に運転スイッチを切ってください。



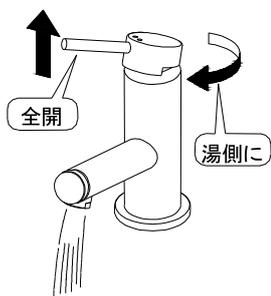
- ② 給湯機器の運転スイッチを切ります。



- ③ 水栓金具の湯側を開け、水栓から出てくる温度が水道水と同じになるまで流します。

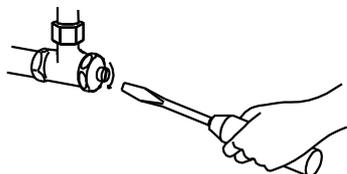
⚠ 注意

必ず機器内の湯を出し切ってください。
 (出てくる温度が40℃程度でもタンク内の湯は80℃程度あります。)
 ※機器内に湯が残っていると、水抜き時イヤケドのおそれがあります。

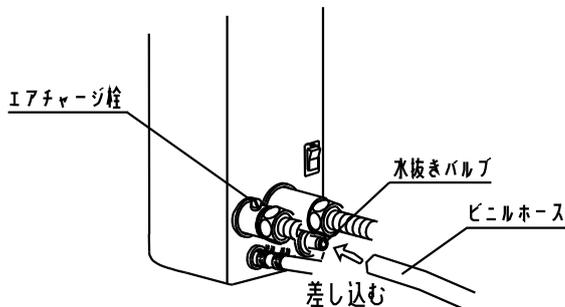


閉

- ④ 水栓金具を開いたまま、止水栓を閉めます。止水栓を閉めた後、水栓から水が出てなくなったことを確認します。

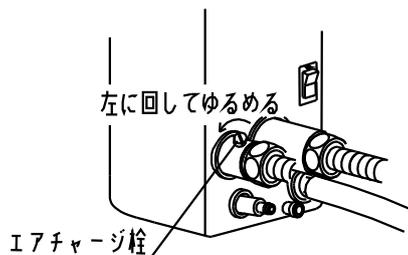


- ⑤ 排水を容器等で受ける準備をし、付属のビニールホースを水抜きバルブに差し込みます。
 ⑥ 水抜きバルブを左に2~3回程度回し水を抜きます。



固くて回しにくい場合はペンチ等を使用してください。

- ⑦ 排水するために、出湯口にあるエアチャージ栓を開けます。マイナスドライバーなどを使用して左へ1~2回転させます。



水抜きバルブを開けてからエアチャージ栓を開けてください。
 ※水抜きバルブを閉めた状態でエアチャージ栓を開けると、栓から水が出てきます。
 ※排水完了まで約10分かかります。

⚠ 注意

○必ず機器内が水になっていることを確認してから水抜きバルブを開けてください。
 ※高温の湯によりイヤケドのおそれがあります。

- ⑧ 水抜きバルブから水が出てなくなったら、水抜きバルブとエアチャージ栓を閉めます。

【排水器具の水抜き方法】
 排水器具の水抜き栓を開けて、排水器具内の水を抜きます。

<水抜き前には>
 排水器具下部に水を受けるトレイ等を準備してください。

<再使用時には>
 必ず水抜き栓を取り付けてください。



日常の点検

⚠ 注意

必ず運転スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
※感電のおそれがあります。



つぎのものは使用しないでください。

- ・酸性、アルカリ性および塩素系の洗剤類
- ・ベンジン、シンナー、ラッカー、アルコール等の溶剤や油類
- ・クレンザー等の粒子の粗い洗剤



※機器の変色や変形の原因になります。

機器回りの漏水点検(日常)

機器、各配管とその接続部分は、長期間の使用により漏水する場合があります。接続部分や機器の下面から漏水していないか日常的に点検してください。

漏水を発見した場合は、すぐに止水栓を閉め、お買い求めの販売店、工事店またはLIXIL修理受付センターへご連絡ください。

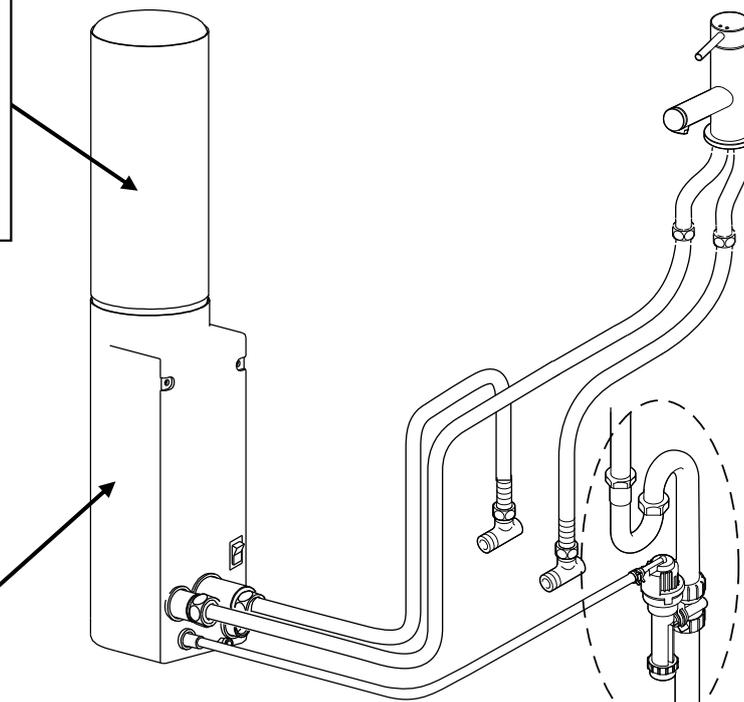
機器周りの環境(日常)

機器上部にぬれたものや洗剤等が置かれていないか確認してください。
置かれている場合は、ただちに取り除いてください。

タンク内のお掃除(年1回程度)

長期間の使用でタンク内に汚れがたまる場合があります。
機器内の水抜きと給水をくり返して清掃してください。

7、10 ページ参照



機器のお掃除(日常)

通常は乾いた布でふいてください。汚れがひどいときは、適量におすすめの中性洗剤をしみこませた布でふき取ってください。
※給湯配管まわりをお手入れする場合は、配管を冷やしてから行ってください。ヤケドの原因になります。
※ナイロンたわし、ステンレスたわし、ブラシ等も使用しないでください。キズつきの原因になります。

排水管のお掃除(月1回程度)

清掃をしてください。
※排水経路がつまり、漏水の恐れがあります。

定期的な部品点検のお願い

●摩耗劣化する部品交換について

部品が摩耗・劣化すると水漏れ等の原因になりますので、交換が必要です。
交換時期の目安:4~6年
摩耗劣化する部品の例:減圧弁、逃し弁(安全弁)、パッキン、Oリング、電装品など

点検・交換は取扱店またはLIXIL修理受付センターにご相談ください。

冬季凍結のおそれがある場合

積雪の多い地方だけでなく、暖かい地域でも思いもよらぬ冷え込みで凍結事故が発生する場合があります。
凍結するおそれがある場合は水抜きをしてください。



注意

室温が0℃以下になると考えられるときは、機器の水抜きを行ってください。
水抜きを行う前に、空だき防止のため、運転スイッチを「切」にして、
電源プラグを抜いてください。
※機器の漏水や破損の原因になります。



長期間使用しない場合

その期間内に凍結するおそれがある場合(冬場など)

機器本体および排水器具の水抜きを行ってください。

※常に運転スイッチが「入」になっていれば凍結しませんが、万が一長時間の停電が発生すると、凍結破損するおそれがあります。

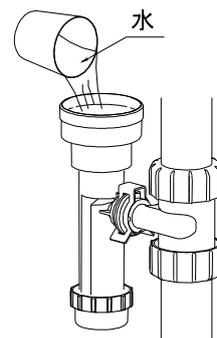
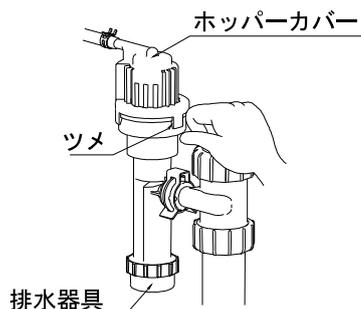
その期間内に凍結するおそれがない場合(夏場など)

①運転スイッチを「切」にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。

②定期的に、排水器具内のトラップ部に水を補給してください。

※機器の電源を切ると、排水器具内のトラップ部が封水切れを起こし、臭気が発生することがあります。

(1)排水器具のホッパーカバーのツメ(3カ所)を取り外します。(2)コップ等でトラップ部に水を補給します。



故障かなと思ったら

故障かなと思ったら、まずは下記項目をご覧になり、処置方法を試してみてください。
確認しても故障が直らない場合は、取扱店またはLIXIL修理受付センターへご相談ください。



注意

修理技術者以外の方は、絶対に分解、改造は行わないでください。
※火災や感電の原因になります。



お湯が出ない、湯にならない

原因	処置方法
止水栓を開いていますか？	止水栓を開けてください。 7 ページ
元電源が入っていますか？	分電盤のブレーカーを「入」にしてください。
分電盤のブレーカーが作動していませんか？	機器の使用を中止し、取扱店またはLIXIL修理受付センターへご相談ください。
電源プラグは確実に差し込まれていますか？	電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。 8 ページ
空だきして安全装置が働いていませんか？	安全装置をリセットしてください。 9 ページ
運転スイッチが「切」になっていませんか？	運転スイッチを「入」にしてください。 9 ページ
給湯機器の運転スイッチが「切」になっていませんか？	給湯機器の運転スイッチを入れてください。 9 ページ

流量が少ない

原因	処置方法
止水栓が十分に開かれていますか？	止水栓を開けてください。 7 ページ
断水していませんか？	断水の確認をしてください。
給湯機器のストレーナーが詰まっていますか？	給湯機器の取扱説明書に従って、ストレーナーを掃除してください。
水栓金具の吐水口が詰まっていますか？	水栓金具の吐水口を掃除してください。

漏水している

原因	処置方法
本体部から漏水していますか？	取扱店またはLIXIL修理受付センターへご相談ください。
配管接続部から漏水していますか？	締め直すことができる部分は締め直してください。それ以外は止水栓を閉め、修理依頼をしてください。
排水管が詰まっていますか？	排水経路が詰まっていると、排水器具から漏水の恐れがあります。 排水管を定期的に掃除してください。 11 ページ

お湯が汚れている

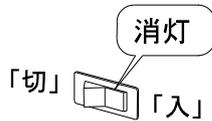
原因	処置方法
タンク内が汚れていませんか？	タンク内を掃除してください。 11 ページ

次の場合は故障ではありません

こんなときは

理由

運転スイッチを「入」にしているのに通電ランプが点灯していない。



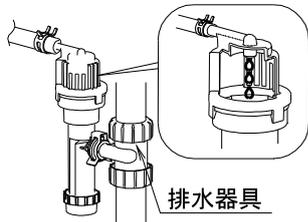
タンク内の水がわきあがると、ヒーターの通電を停止するため通電ランプが消灯します。
タンク内の湯温が下がると、ヒーターの通電を開始するため通電ランプが点灯します。



わきあげ完了

9 ページ
参照

運転スイッチを「入」にしたときに排水器具からポタポタと水が出る。



タンク内の水が温められると、膨張して体積が増えます。その膨張した水を排水器具から排出しており、異常ではありません。

水と比べて、お湯の流量が少ない。

本機器は、タンク破損防止のために減圧弁を内蔵し、水圧を下げています。

再使用時にお湯の温度が一瞬低くなるまたは高くなる場合がある。

内蔵されているサーモスタットの温度調節に若干時間がかかるためです。

出てくるお湯ににおいがする

水道水中に含まれるにおい成分(カルキ臭)などが加熱され、においが感じられることがあります。使い始めはプラスチックのにおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。

混合水栓の水側を開いたときにあたたかい水が出る。

タンク内の水をわきあげる際に、給水配管の水に若干熱が伝わるからです。

本体が熱くなっている。

通常機器外装部の表面温度は、約 40℃程度まで上昇します。

機器から異音がある。

お湯のわきあがり近くなると、機器内部からお湯がわいている音がしますが、異常ではありません。

使用しているとお湯の温度が高くなる。

この機器は、タンク内に貯めたお湯と給湯配管内の残水を混ぜて出湯します。給湯機器の設定温度が高く、給湯配管内がお湯になっている場合は、出湯温度が高くなります。

上記処置で不明な点がございましたら、取扱店または当社お客さま相談センターへご相談ください。
修理のご依頼が必要な場合はLIXIL修理受付センターに修理を依頼してください。

TEL : ☎0120-179-411 FAX : ☎0120-179-456

アフターサービスについて

1.修理を依頼される前に

使用していて、故障ではないかと思われたら、13、14ページの「故障かなと思ったら」、「次のような場合は故障ではありません」を参照してください。

2.保証書をご覧ください。

- 本製品の保証期間はお取付日から2年間です。
- この取扱説明書の最後のページが保証書になっています。お取付日、取扱店名などの記入をお確かめのうえ大切に保管してください。
- 保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

3.修理を依頼されるとき

<保証期間中の修理>

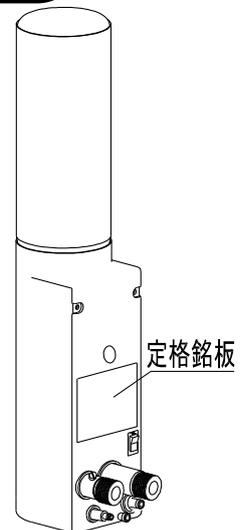
- ・修理に際しては、保証書をご提示ください。
- ・保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

<保証期間経過後の修理>

- ・修理すれば使用できる商品については、有料にて修理させていただきます。
- ・修理料金は「技術料」+「出張料」+「部品代」で構成されています。

<連絡していただきたい内容>

- 1 ご住所・ご氏名・電話番号
- 2 商品名・品番・取付年月日
(機器本体の定格銘板をご覧ください)
- 3 故障内容・異常の状況をできるだけ詳しく
- 4 訪問ご希望日・お宅までの道順



※お客さまからご連絡いただく氏名や住所等の個人情報は、商品の点検修理にのみに利用し管理いたします。なお、これらの業務に携わる協力会社へもお客さまの個人情報を開示することがありますが、弊社と同等の管理を行いません。

4.部品の保有期間について

この機器の補修用性能部品の保有期間は、製造打切後6年です。
この部品保有期間を修理対応可能な期間とさせていただきます。
保有期間が経過した後でも、故障個所によっては修理可能な場合がありますので、ご相談ください。
※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5.修理のご依頼は

お求めの販売店やお近くの水道工事店、または
LIXIL修理受付センターへ

TEL ☎ 0120—179—411

受付時間 9:00~20:00(365日受付)

FAX ☎ 0120—179—456

ホームページアドレス <http://www.lixil.co.jp/support/>

仕様

品番	EG-2S2	
外形寸法 (幅×奥行×高さ)	157mm×90mm×492mm	
本体質量	本体 2.5 kg(満水時 4.5 kg)	
給水方式	先止め式	
使用水圧範囲	0.05MPa(流動圧)~0.75MPa(静水圧)	
減圧弁設定圧力	0.25MPa	
過圧逃し弁設定圧力	吹き始め:0.9MPa 吹き止り:0.7MPa	
電源コード	有効長さ 1.5m 接地極付タイプ	
電気 定格	定格電圧	AC100V 50/60Hz
	消費電力	360W
タンク	容量	1.9L
	材質	特殊ステンレス鋼板
出湯温度	約 38°C~給湯器設定温度 (※)	
保温温度	約 80°C	
わかあがり時間	約 25 分(水温 15°C時)	
発熱体	構造	シーズヒーター
	容量	360W
自動温度調節器	バイメタル方式(自動復帰式)	
温度過昇防止器	バイメタル方式(手動復帰式)	
組み合わせる給湯機器の 設定可能温度(※)	38~80°C	
使用可能 雰囲気温度	0~40°C(ただし凍結しないこと)	

※タンク内のお湯と給湯配管に残った冷水を混合して出湯します。給湯配管内の冷水を消費し、給湯機器からのお湯がくると、自動的に切替え、給湯機器のお湯がでます。必ず混合水栓で湯と水を混ぜて適温に調節してご使用ください。

■セット品の内容

品番	同送排水器具
EG-2S2-S	EFH-4-EG (※):洗面カウンター用、洗面化粧台用(直管タイプの主排水管の場合)
EG-2S2-K	EFH-4K-EG (※):洗面化粧台用
EG-2S2-MK	EFH-4MK-EG (※):キッチン用(排水接続径 2 インチ用)
EG-2S2-MK-1H2	EFH-4MK-1H2 -EG (※):キッチン用(排水接続径 1.5 インチ用)
EG-2S2-MK-AS	EFH-4MK-AS-EG (※):キッチン用(排水接続径 2 インチ横引きわん形トラップ用)

特定電気用品の適合性検査証明

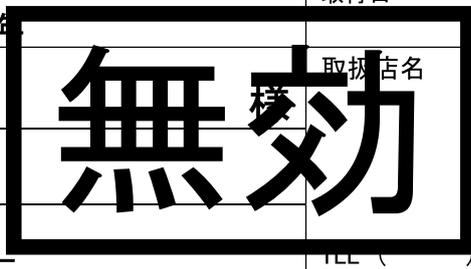
本製品は、電気用品安全法第 9 条の規定に基づき、特定電気用品の適合性検査証明を受けています。

保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求めの取扱店に修理をご依頼ください。

※ 品番・取付日・お客さま・取扱店の欄に記載のない場合は、無効になります。

品名：		(品番：)	
保証期間	取付日より 2 年	取付日	年 月 日
お客さま	おなまえ	取扱店名	TEL ()
	おところ		
	おでんわ ()		



お客さまへ

- ・保証書は再発行しませんので、紛失されないよう大切に保管してください。
- ・お客さまにご記入いただくこの保証書の個人情報につきましては、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます。

無料修理規定(保証規定)

- 「取扱説明書」・「ラベル」などの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
- 無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
- ご転居、ご贈答品などで、本書に記載の取扱店に修理を依頼できない場合は、取扱説明書に記載のお客さま相談センターまたはLIXIL修理受付センターにご相談ください。
- 保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。(免責事項)
 - 用途以外(車両、船舶及び使用頻度が極度に高い業務用等)に使用した場合の故障及び損傷等の不具合
 - 指定業者や施工説明書等に基づかない施工及び工事に起因する不具合
 - お客さまが適切な使用・維持管理を行わなかった事による故障及び損傷等の不具合
 - 専門業者以外による移動・修理・分解などに起因する不具合
 - 建築躯体の変形(強度不足・ゆがみ)等製品以外の不具合に起因する当該製品の不具合
 - 経年変化使用に伴う外観上の現象(塗装の色あせ、もらい錆等)または使用に伴う消耗部品の摩耗等により生じる不具合
 - 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境及び公害環境(煤煙、塩害、砂塵、各種金属粉、硫化水素ガスなど各種ガス)に起因する不具合
 - 小動物(犬、猫、ねずみ、昆虫等)の行為または蔓(つる)や根などの植物の害に起因する不具合
 - 天災地変(火災、爆発等事故、落雷、地震・噴火・風水害・津波、地盤沈下、凍結、雪害等)に起因する不具合による故障及び損傷
 - 戦争・暴動等破壊行または犯罪等の不法行為に起因する破損や不具合
 - 自然現象や住環境に起因する結露・染み出し・かび等の現象
 - 消耗品(パッキン)類、配管中の異物のつまり等による故障および損傷
 - 水道水以外を給水したことによって生じた故障及び損傷(※水道水とは、水道事業者が供給する上水をいう。)
 - 凍結による故障及び損傷
 - 給水・給湯配管の錆、砂やごみなどの異物の配管内流入及び水あか固着に起因する不具合
 - ガス・電気・給水等の供給で指定された以外の環境(異常ガス圧、異常電源・電圧・周波数、異常電磁波、異常水圧・水質、音、振動等)に起因する故障及び損傷などの不具合
 - 指定規格以外のガス・電気・燃料等を使用したことに起因する不具合
 - 保証書の期限切れまたは提示がない場合
 - 本書にお取付日・お客さまのお名前・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明な場合、お買い求めの取扱店または取扱説明書に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。
- 修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打切後 6 年です。

商品のお問い合わせはお客さま相談センターへ

TEL ☎ 0120-179-400

FAX ☎ 0120-179-430

受付時間：平日 9:00~18:00

土日・祝日 9:00~17:00

(ゴールデンウィーク・夏期・年末年始の休みは除く)

修理のご依頼はLIXIL修理受付センターへ

TEL ☎ 0120-179-411

FAX ☎ 0120-179-456

受付時間：9:00~20:00(365日受付)

株式会社 LIXIL

ホームページアドレス <http://www.lixil.co.jp/>

株式会社 LIXIL

使い方・お手入れ方法等、商品についてのお問い合わせは

お客さま相談センター

TEL  0120-179-400

FAX  0120-179-430

受付時間 平日 9:00～18:00

土日・祝日 9:00～17:00

(ゴールデンウィーク・夏期・年末年始の休みは除く)

※フリーダイヤルは携帯電話・PHS・IP電話ではご利用いただけない場合があります。

下記番号をご利用ください。

TEL 0562-40-4050 FAX 0562-40-4053

インターネット・ホームページアドレス

<http://www.lixil.co.jp/>

修理のご依頼は(本文の「アフターサービス」をお読みください)

お求めの販売店または

LIXIL修理受付センターへ

TEL  0120-179-411

受付時間 9:00～20:00(365日受付)

FAX  0120-179-456

ホームページアドレス <http://www.lixil.co.jp/support/>

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

